

# 令和8年度 事業計画（総括）

## I. 予算の概要

令和8年度は、第2期島根創生計画（令和7年度（2025年度）～令和11年度（2029年度））の2年目であり、島根の目指す将来像に向けて着実な推進を図るため、

- ・学生の就職活動の早期化に対応した事業の実施
- ・東京、大阪での対面によるしまね移住フェア&しまね暮らしマルシェの実施
- ・関係人口の拡大に向けた「しまっち！」の運営とマッチング支援の強化などを実施していく。

3部（地域振興部・環境生活部・商工労働部）全体では、標準人件費改定に伴う人件費の増加、新規事業の追加及び既存事業の拡充により、令和7年度に比べ増額の予算となった。

### ■定住財団の予算

（単位：百万円）

財源区分		R8 予算	R7 予算	増減	備 考
島根県	地域振興部	624	621	3	しまね暮らし推進課
	環境生活部	19	18	1	NPO活動推進室
	商工労働部	234	208	26	雇用政策課
	小 計	877	847	30	
財 団		40	45	▲5	基金充当（15） しまね未来ポート事業寄付金（6） その他（19）
計		917	892	25	

### （参考）第2期島根創生計画の定住財団関連の施策KPI

成 果 指 標	R8 年度目標	経常分類
県外4年制大学の島根県出身者の県内就職率	30.6%	単年度値
県内大学の県内就職率	37.5%	単年度値
ふるさと島根定住財団の「産業体験事業」終了時定着者数	65.0人	単年度値
UIターン希望者のための無料職業紹介による年間就職決定者数	345.0人	単年度値
移住支援東京拠点等での関係人口拡大セミナー受講者数	400.0人	単年度値
関係人口マッチングサイトのサポーター新規登録者数	500.0人	単年度値
関係人口マッチングサイトによるマッチング人数	420.0人	単年度値
NPO法人の認証数	290.0法人	累計値

## II. 若年者の県内就職促進の主要事業

### 令和7年度の状況

#### (1) 主な事業実績 (R8.1月末現在)

##### ①企業説明会等の開催状況

(単位：人・社)

イベント名等	開催日	場所	R6年度		R7年度	
			参加者 人数	参加 企業数	参加者 人数	参加 企業数
しまねジャンボ企業博	R7. 12. 27(土)	くにびきメッセ	211	157	314	158
しまね企業ガイダンス	R8. 3. 3(火)	くにびきメッセ	260	196		200

##### ②しまね短期仕事体験の状況

(単位：人・社)

項目	R5年度			R6年度			R7年度		
	夏期	春期	計	夏期	春期	計	夏期	春期	計
申込企業数(社)	125	104	229	160	119	279	179	85	264
申込学生数(人)	327	91	418	289	68	357	291	37	328
マッチング企業数(社)	70	44	114	76	41	117	88	27	115
参加者数(延数)	318	85	403	299	76	375	315	50	365

※R6年度及びR7年度の申込企業数(社)はパッケージ型プログラムを含む

※R7年度春期は申込企業数(社)以外が見込みの件数

##### ③企業向け採用力強化セミナー

(単位：社)

開催日	内容	場所	参加企業数
R7. 7. 1 (火)	採用につなげるフィードバックの方法	松江	30
R7. 9. 2 (火)	はじめてのプログラム作成の進め方・考え方	松江	29
R7. 9. 3 (水)	はじめてのプログラム作成の進め方・考え方	浜田	12

#### (2) 取組状況

令和7年度は、新たに就職活動の流れや県内企業等の情報を掲載した保護者向けサイトを8月に開設し、SNS等を活用し情報発信を行うとともに、12月にはしまねジャンボ企業博と同時に保護者向けセミナーを開催した。

さらに、低学年次からジョブカフェを知ってもらうため県内の暮らしや文化、移住者等にも触れながら、気軽に参加できて楽しめるイベントを行った。

また、引き続き県内企業を動画で紹介する特設サイトの開設や、楽しみながら県内企業と交流できる業界研究イベント、企業説明会等を実施し、学生と企業等がつながる機会を提供した。

そして、夏休み期間を中心に実施する就業体験事業では、しまね短期仕事体験に多くの学生に参加してもらえるよう、引き続き複数の企業で仕事体験ができるプログラムを導入し、県内企業や仕事の魅力を知ってもらう機会を提供した。

さらに、企業の採用力強化の支援として、就業体験の受入を希望する企業等に対し、前年度に就業体験に参加した学生のリアルな声を聞いてもらうことのできるセミナー等を開催した。

「しまね登録」の高校卒業時の登録促進については、高等学校、県教育委員会、県雇用政策課と連携し、出張説明を積極的に行いながら登録を推進した。

なお、就職活動を始める学年を中心とした学生等に対しては、県内外の大学等で改めて登録のメリット等を伝えるための登録会や、新規登録・情報更新キャンペーン等を通じて登録者の増加を図りつつ、LINEアプリを通じて学年等に応じた就活情報等をタイムリーに配信した。

今後は、就職活動がより早期化する中で県内就職を考えてもらえるようにするため、低学年次から県内企業等での就業体験に参加してもらうための取組が必要である。

## 令和8年度の事業展開

若年者へのキャリア相談、企業・求人情報の提供、就業体験・就活イベントの実施等を一体的に行い、若年者へきめ細かな就職支援を行う。

学生の県内就職を促進していくため、早期化した就職活動スケジュールに合わせた情報提供を行うことに加えて、低学年次から県内企業等が実施する就業体験への参加を促す取組や、ジョブカフェしまねサイト内に学生が直接企業のインターンシップ等への申込みができる応募管理システムを構築し、学生や企業の利便性の向上を図る。

学生への県内就職情報の伝え方については、引き続き「しまね登録」の登録者を増やし、LINE配信等を活用して情報発信を行うことに加えて、就職活動において影響力の大きい保護者に向けた情報発信を強化し、保護者から子ども（学生）に県内就職の魅力を伝えてもらうための取組を行う。

### (1) 企業と学生の出会いの支援の充実

#### ①効果的な就職活動イベント等の実施

若年者の県内就職を促進するため、次の事業を実施する。

- ・しまねジャンボ企業博（業界研究）（12月・松江市）、しまね企業ガイダンス（合同企業説明会）（3月・松江市）
- ・県内企業の情報を特設サイトで動画配信により紹介するジョブチャンネル（10月～）

#### ②インターンシップ等フェアの開催【新規】

就職活動の早期化により、低学年次から就業体験への参加を意識する学生は増加しており、インターンシップ等フェア（6月・松江）を通じて県内企業等のプログラムを知ること、県内企業等での就業体験への参加を推進する。

#### ③インターンシップ等応募管理機能構築【新規】

ジョブカフェしまねサイト内に学生が直接企業のインターンシップ等への申込みができる応募管理システムを構築し、学生や企業の利便性の向上を図る。

- ・しまね1Day仕事体験（10月以降、通年運用）
- ・しまね短期仕事体験・しまね学生インターンシップ（令和9年度運用開始）

#### ④インターンシップ等の実施

「インターンシップの推進に当たっての基本的考え方」（文部科学省、厚生労働省及び経済産業省合意）の改正の内容に対応し、引き続きしまね短期仕事体験、しまね学生インターンシップ、しまね1Day仕事体験を実施する。

しまね1Day仕事体験は令和7年度まで10月から2月の間実施していたが、新たに夏休み期間も含め通年で実施する。

しまね短期仕事体験では、引き続き複数の企業で仕事体験ができるプログラムを導入するなど、参加学生の増加及び受入企業の増加を図る。

## ⑤就業体験への参加や就職活動の支援【拡充】

県内外の大学等に在籍する学生が、しまね短期仕事体験等の就業体験に参加する際や、県内企業での就職活動の際に必要な交通費・宿泊費について、民間によるしまね未来サポート事業と連携し助成する。

公共交通機関での移動が困難な地域での就業体験等への参加を促すため、宿泊費のみの申請についても助成金の対象となるよう要件を緩和する。

## ⑥低学年次からの企業との交流事業【拡充】

低学年次からジョブカフェを知ってもらうこと、県内企業と接点を持ってもらうことを目的に、気軽に参加できて楽しめるイベントを行う。イベントは県内の暮らしや地域活動、移住者等にも触れる内容で実施し、その後ジョブカフェや県内就職イベントにつなげていく。令和8年度からは東部に加え、西部でも開催する。

## (2) 学生に向けた情報発信力の強化

### ①「しまね登録」による情報発信の推進

県内各高校と県教育委員会、県雇用政策課との連携により、引き続き県内高校を卒業する学生に「しまね登録」の登録を推進するとともに、就職活動が始める学年を中心とした学生等に対して、改めて登録のメリット等を伝える登録会を県内外の大学等で実施し、新規登録・情報更新キャンペーン等を通じて登録者の増加を図る。

「しまね登録」の登録者には、LINE配信等により、出身地域、出身高校、学年など、登録者の属性に応じた共感度の高い情報や就活に役立つ情報をタイムリーに配信する。

## (3) 県内企業の採用力強化の支援

### ①企業の採用活動支援

県内企業の訪問等を行い、採用活動の状況や現場のニーズ等を把握するとともに、ジョブカフェしまねサイトの活用や支援策に関する情報提供を行う。

また、就業体験の受入プログラムを改善するセミナーを開催する。

## (4) 保護者等へのアプローチ

### ①山陰中央新報社と連携した保護者向け情報発信

学生の就職活動に大きな影響力を持つ保護者に向けて、県内企業の若手社員のホンネ（仕事・やりがい）を山陰中央新報で毎月1回掲載する。

### ②保護者向け情報発信

就職活動の流れや県内企業等の情報を掲載した保護者向けサイトを運用するとともに、SNS等を活用し発信を強化する。

また、保護者に就職活動の現状について理解してもらい、県内就職のサポートをしてもらうための保護者向けセミナーを開催する。

### Ⅲ. U I ターン推進関連の主要事業

#### 1. U I ターンの相談、情報発信及びフェア等開催

#### 令和7年度の状況

##### (1) 主な事業実績 (R8.1月末現在)

##### ① しまね移住フェア&しまね暮らしマルシェ(対面)

(単位：組・人)

年度	開催地	日付	総来場組数	移住フェア		相談対応数	
				来場組数	来場者数	財団	市町村等
R7	大阪	9/28(日)	1,732	973	1,707	226	1,204
	東京	11/30(日)	1,166	1,117	1,619	217	1,105
R6	大阪	7/13(土)	1,882	587	935	114	731
	東京	10/19(土)	1,326	805	1,209	161	800

##### ② しまね移住相談会(対面)

(単位：人)

年度	開催地	日付	来場者数	相談対応数	
				財団	市町村等
R7	東京	6/15(日)	289	96	589
R6	東京	6/15(土)	192	59	363

##### ③ しまね移住体感ツアー(オンライン)

(単位：人・組)

年度	日付	テーマ	参加者数	相談組数
R7	5/24(土)	移住前後のギャップ	104	13
	8/30(土)	島根の交通事情	113	12
	2/28(土)	島根の気候	—	—
			217	25
R6	全4回	①農林漁業②田舎暮らし③結婚子育て④移住のネック	467	40

##### ④ しまね企業EXPO(対面)

(単位：人)

年度	開催地	日付	企業数	来場者数	相談対応数			
					社会人	学生	財団	企業等
R7	大阪	10/25(土)	25	105	74	31	22	187
	東京	2/7(土)	26	134	111	23	51	239
R6	大阪	11/23(土)	20	91	61	30	21	114
	東京	1/25(土)	20	112	85	27	41	164

### ⑤しまね移住相談窓口（紫ビル）相談実績

（単位：人）

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	相談者数
R7	25	16	39	10	23	28	41	35	10	9			236
R6	25	18	31	14	38	40	24	23	37	15	22	13	300

※来所・電話・メール・WEB・イベント出展での相談者数

### ⑥島根県移住相談窓口（ふるさと回帰支援センター）相談実績

（単位：人）

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	相談者数
R7	15	10	87	3	6	56	31	48	33	11			300
R6	11	15	36	18	29	78	14	13	9	10	10	8	251

※来所・電話・メール・WEB・イベント出展での相談者数

## (2) 取組状況

令和7年度は、移住意識の高い方向けの「しまね移住相談会」、移住意識のまだ低い方も楽しめる「しまね移住フェア&しまね暮らしマルシェ」、島根の企業との出会いを求めている方向けの「しまね企業EXPO」の3種類の対面型イベントを昨年度に引き続き実施した。

実際にイベントへ足を運んでもらうことで、財団職員や市町村の担当者をはじめ、島根県で暮らす様々な人との出会いや交流を通じて、島根での暮らしを具体的に検討してもらうきっかけづくりを行うことができた。

なお、昨年度に比べ、移住相談会と移住フェアについて、財団・市町村における相談対応数を大幅に増加させることができたため、これらの相談者について引き続き情報提供を続け、実際の移住につなげるために継続的な関係性を構築する必要がある。

一方、しまね移住支援サテライト東京では、紫ビル、ふるさと回帰支援センターの各窓口で相談対応を行ったほか、1月末までに移住検討者向けのセミナーを8回開催し81名の参加者があった（令和6年度は16回開催110名参加）。また、令和7年度から事業を始めた移住企画プランナーによるイベントも1月末までに7回開催し201名の参加があった。さらに、ふるさと回帰フェアなど外部イベントにブース出展しており、令和7年度は参加者が女性限定の転職イベントにも初めて参加し相談対応を実施した。セミナーや移住フェア等で首都圏の新規相談者獲得を図るとともに、相談者へのきめ細かな対応及び情報提供をし、島根側の相談員への丁寧な接続を行った。

なお、令和7年度も相談者数、相談件数ともに過去最高の実績となった昨年度と同水準の実績を維持しているが、これまで対応してきた島根への移住関心層に加え、学生を含む20代から30代の若年層に向けた支援について継続して力を入れていく必要がある。

## 令和8年度の事業展開

これまでもターゲットを絞った情報発信を行っているが、新たに、県外在住の島根県出身者や県内在住の親をターゲットにした広報を実施し、Uターンの促進に向けた情報発信を行う。

また、対面・オンラインそれぞれのイベントを継続して開催し、移住検討者と出会う場の確保を行う。

### (1) 情報発信の質と量の向上

「くらしまねっと」を活用し、企業情報や求人情報及び移住に必要な暮らしの情報、市町村情報等を発信する。

また、「移住促進キャラクター」をSNS等で広報するとともに、女性をターゲットにして「暮らし」や「働き方」に着目したコンテンツを作成し、ブログ等で発信する。

さらに、県外在住の島根県出身者をターゲットにした情報発信、県内在住の親をターゲットにした親からのUターン呼びかけを促進するための広報を実施する。

### (2) UIターンフェア、相談会の開催【拡充】

東京・大阪での対面イベントについては、「しまね移住フェア」と同日に「しまね暮らしマルシェ」を開催することで、移住意識のまだ低い方との接点を増やし、移住相談につなげることを目指す。

また、移住意識の高い方のための「しまね移住相談会」を東京に加えて大阪でも新たに開催し、対面で移住相談ができる機会を増やす。

なお、オンラインイベント「しまね移住体感ツアー」を引き続き実施することで、全国各地に在住する移住検討者にアプローチする。

### (3) しまね企業EXPO【拡充】

若年者（学生を含む）を主な対象とした「仕事」に特化したイベントを、東京・大阪で開催する。島根県内企業と若年者が出会う場を設け、県内就職への意識を高めることで、県内就職の促進を図る。

### (4) しまね移住支援サテライト東京の活動

「しまね移住相談窓口」及び「ふるさと回帰支援センター」での移住に関する相談や、移住検討者向けのセミナー及び相談会等を行うとともに、令和7年度から事業を始めた移住企画プランナーに引き続き業務委託し、移住関心層や若年層に向けた積極的なイベント企画を行う体制を強化することで、首都圏から島根へのUIターン者の更なる獲得を目指す。

## 2. 無料職業紹介事業

### 令和7年度の状況

#### (1) 主な事業実績 (R8.1月末現在)

##### ①しまね登録者及び求職登録者の状況

(単位：人)

区分／年度		R2	R3	R4	R5	R6	R7
しまね登録者		—	7,285	8,836	11,585	13,473	15,311
内：求職登録者		2,119	2,131	2,496	2,911	3,258	3,442
(男女別)	男	1,505	1,491	1,680	1,876	1,999	2,125
	女	614	639	810	1,025	1,248	1,306
	他	—	1	6	10	11	11
(U I ターン別)	U	976	962	1,032	1,034	1,069	1,016
	I	1,143	1,169	1,464	1,877	2,189	2,426

##### ②移住相談対応状況

(単位：人・件)

年度	相談者数 (実数)	相談件数 (延べ数)	(相談件数／内訳)							
			来所	オンライン	TEL	メール	イベント	現地対応	郵送	その他
R7	2,170	6,098	325	184	728	3,653	891	210	76	31
R6	2,424	7,437	483	162	1,089	4,152	845	109	45	552

##### ③移住・就職決定状況

(単位：人)

年度	就職決定者	移住のみ決定者	同伴家族人数	移住者総数
R7	298	50	194	542
R6	348	36	253	637

##### ④くらしまねっと活用状況

(単位：社・PV)

年度	登録企業数	求人掲載企業数	ページビュー数
R7	3,195	1,336	1,661,618
R6	3,107	1,217	2,103,671

#### (2) 取組状況

しまね登録者及び求職登録者の人数は、1月末のしまね登録者が昨年度末から1,838人増加し、求職登録者は184人増加しており、いずれも順調に推移している。ただし、U I ターンの別では、I ターン者は順調に増えているが、U ターン者は伸び悩んでいる状況であり、啓発活動を広げる必要がある。

1月末現在の就職決定者数は298人となっており、昨年同月と比べると13人増でK P I 【341人】との差は43人であり、概ねK P I 達成に向けて順調に推移している。

また、「くらしまねっと」を活用する県内企業が増加傾向にある。求職者が自ら「くらしまねっと」を活用し、効率的にマッチングが進むよう取り組む必要がある。



## 令和8年度の事業展開

「くらしまねっと」による求職者のニーズに応じた県内企業情報・求人情報の発信、潜在的求人等の開拓、マッチング、企業見学・面接機会の提供等、きめ細かな就職支援を引き続き実施する。

移住希望者への細かなヒアリングを基に、島根で実現できるベストな選択の後押しとなるべく、企業側とのコミュニケーションも一層深め、双方が納得いくマッチングを目指す。

また、令和8年3月にシステム実装を行う自動マッチングシステムを有効活用してもらうことで、企業と求職者のマッチングが効率的に進むように利用促進を図りつつ、新たに社会人インターンシップの機能追加を行うことで、企業と求職者の出会う機会を増やし、一層の就職支援の強化を行う。

### 3. UIターンしまね産業体験事業の状況

#### 令和7年度の状況

##### (1) 産業体験事業の実績 (R8.1月末現在)

###### ①認定状況

(単位：人)

項目	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
認定者数	93	103	107	61	72	60	
内訳	農業	43	47	59	40	28	28
	畜産	8	7	8	2	4	3
	林業	11	11	4	3	8	6
	漁業	22	29	25	12	25	19
	その他	9	9	11	4	7	4

###### ②終了後定着状況

(単位：人・%)

項目	R3	R4	R5	R6	R7
終了見込者数	—	—	—	—	69
終了者数	91	111	93	57	41
終了時定着者数	77	98	76	53	36
終了時定着率	84.6	88.3	81.7	93.0	87.8

##### (2) 取組状況

新型コロナ以降、新規認定者数が年々増加傾向で推移してきた中、令和5年度から急速に認定者数が減少している。令和7年度の新規認定者数は1月末現在で60人であり、昨年同時期と同数となっているものの、低い認定者数で推移している。第一次産業等に興味を持っていただいても、実際にやってみる、というところまでいかない状況が続いている。

終了時定着者数は、1月末現在で36人であり、KPI【65人】の達成はやや厳しい状況である。一方、終了時定着率は、1月末現在で87%を超える高めの状況であり、県内定着に寄与している。残りの終了見込者及び現在体験中の方たちへのフォローアップを徹底し、県内定着していただけるよう関係機関と連携して取り組む必要がある。

#### 令和8年度の事業展開

新規認定者増を目指して、産業体験事業の広報・周知活動を強化する。第一次産業等に興味を持つ方に制度を知っていただけるよう、ターゲティング広告や民間の第一次産業関係のマスメディアへの露出等に取り組む。なお、財団が実施するイベント等での打ち出しなど、事業・分野に興味を持ってもらえるように工夫を凝らす。

また、定着者数の増加に向け、体験者全員に担当スタッフを配置し、定期的な状況確認や相談対応を行い、従事する業種や受入先とやっていけそうかを体験者に確認するなど、きめ細かな体験者へのフォローや関係機関との連携を引き続き実施する。特に、新規自営就農希望者に関しては、市町村をはじめとしたチームに初期から一緒に体験者をサポートしてもらい、着実に就農してもらえよう、手厚くバックアップしていく。

## IV. 活力と魅力ある地域づくり関連の主要事業

### 1. 関係人口の拡大

#### 令和7年度の状況

##### (1) 主な事業実績 (R8.1月末現在)

##### ① 「しまっち！」 (単位：件、人)

年度	R3	R4	R5	R6	R7
オーナー登録数	30	49	47	57	74
サポーター登録数	129	302	566	642	726
プログラム掲載数	28	67	100	135	179
マッチング件数	16	48	70	113	133
マッチング人数	31	148	388	512	613

※R3はR3.11～

##### ② しまね地域活動担い手育成講座 (単位：人)

講座名	東部	西部	合計
R7	12	14	26

##### ③ しまコトアカデミー (単位：人)

講座名	東京講座	関西講座	広島講座	島根講座	合計
R7	8	9			17
R6	16	14	6	18	54
R5	12	7	7	18	44

##### ④ しまね移住支援サテライト東京 関係人口拡大セミナー (単位：人)

区分	イベント名	R6	R7
掘り起こし	しまねワークショップ	118	59
関係人口ツアー	ヒトコト旅	9	—
コミュニティ化	島根プロジェクト、交流イベント	126	117
若年層	学生向けイベント	—	23
合計		253	199

##### ⑤ 現地滞在型関係人口受入検証事業

安来市比田地区				奥出雲町三沢地区			
1	30代	2か月	関わり継続意向あり	1	20代	3か月	関わり継続意向あり
2	30代	1か月	他県へ移住	2	20代	1か月	今冬いわみ暮らし留学参加予定
3	30代	1か月	関わり継続意向あり	3	20代	1か月	関わり継続意向あり

## (2) 取組状況

県内外に在住する関係人口と、地域づくりの担い手として関係人口を受け入れたい県内地域とのマッチングを行うサイト「しまっち！」を運営。

サポーターに対しては、地域活動団体との出会いの場となるオンラインイベントを3回実施。その他、サテライト東京が実施した関係人口拡大セミナーやしまコトアカデミーにより、都市部において関係人口関心層を掘り起こし、サポーター登録数の増加に寄与した。また、関係人口の「地域の担い手化」促進のため、「現地滞在型関係人口受入検証事業」を継続実施した。

地域団体に対しては、県内3エリアを選定し、地域に詳しい中間支援組織にオーナー及びプログラム掘り起こしを試験的に委託し、16団体・15プログラムの掘り起こしにつながった。加えて、財団スタッフによる地域巡回及び相談対応等により、受入メニューとなるプログラム数を確保。その他、関係人口受入時の体制整備等に係る経費を助成するとともに、受入にあたっての知見を求める団体にアドバイザーを派遣。更に、自ら地域活動を起こす人材の育成のため、しまコトアカデミー島根講座の後継事業として「しまね地域活動担い手育成講座」を開講し、新たな地域活動主体の掘り起こしを行った。

## 令和8年度の事業展開

地域活動の担い手づくり、地域活動及び地域団体の維持・継続に向け、サポーター掘り起こしと「しまっち！」を通じた地域活動参画促進、受け皿となるオーナー・プログラム掘り起こし、地域活動主体の育成に引き続き取り組む。加えて、地域活動及び団体の維持継続に向けてポイントとなる地域団体側の「関係人口受入スキル」向上も進めていく。

なお、「しまっち！」サポーターのプログラム参加状況は、約半数が未参加であるため、既存・新規サポーターのプログラム参加促進に向けた取り組みも行う。

### (1) しまコトアカデミー

島根の地域づくりに関心を持つ首都圏及び関西圏在住者を対象に、島根との関わりや課題解決を目指す人材の育成、過去講座修了生に対するフォロー活動や、人材のネットワーク化を図る。

### (2) 都市部での関係人口拡大セミナー（しまね移住支援サテライト東京）

首都圏在住者を対象に関係人口掘り起こし企画や、東京にしながら島根に関わる機会づくりを行う。「しまっち！」「しまコトアカデミー」への接続を意識し、島根や地域と関わることのできる機会を提供する。また、首都圏の学生や若手社会人などの若年層を対象に、島根県内での地域インターン参加に接続するためのイベントを引き続き企画する。

### (3) マッチングイベント

県外在住サポーターの島根県内活動参画促進を目的に、島根の地域団体と県外在住サポーターのマッチングイベントをオンラインから対面開催に変更し実施する。

#### (4) 関係案内所モデル委託事業

県内の中間支援組織に「しまっち！」オーナー及びプログラム掘り起こしを試験的に委託する。委託により中間支援組織が地域団体との関係性を構築するとともに、当該地域が関係人口の受入経験を積むことで、関係人口の地域の担い手化に向けた土台づくりを進める。

#### (5) しまね地域活動担い手育成講座

地域活動を自ら実践することに興味を持つ県内在住者を対象に、地域活動の起こし方・仲間づくり・団体運営等を学ぶ連続講座を実施する。また、受講生の地域活動実践に向けたフォロー及び地域団体との交流会を行う。

#### (6) サポーター取材記事を活用した「しまっち！」登録促進【新規】

「しまっち！」を積極的に活用するサポーターの取材記事を作成し、地域に関わる具体的イメージを伝える広報を行うことにより、地域活動への参画意欲が高い層の新規登録を促す。

## 2. しまね田舎ツーリズムの推進

### 令和7年度の状況

#### (1) 事業実績 (R8.1月末現在)

##### ① 田舎ツーリズム実践者数

(単位：施設)

	R1 末	R2 末	R3 末	R4 末	R5 末	R6 末	R7
登録施設数	106	135	147	163	167	170	172

##### ② 利用促進キャンペーン [交通費助成型]

(単位：件・人)

	助成件数	うち 移住検討者	うち「移住意欲 向上した」
R7	36	22	18
R6	37	9	6

#### (2) 取組状況

令和6年度から改めて事業を「移住定住・関係人口につなげるための取組」と位置付けたことに伴い、主に県外在住の移住検討層や関係人口関心層に向けて利用促進キャンペーン（交通費助成）やPRを行った。

交通費助成は要件を変更し「しまね登録」を必須にしたことにより、令和6年度に比べ移住検討者の割合が高くなり、実際に移住相談や県外移住イベント来場につながった。

実践者に対しては、受入スキルやモチベーション向上を目的に、実践者のニーズに基づき研修を企画・実施した。その他、新規相談者のフォローを行い登録拡大を図った。

### 令和8年度の事業展開

引き続き「移住定住・関係人口につなげるための取組」と位置づけ、主に県外在住者に対し「地域住民との交流」「地域生活体験」の機会として情報提供する。移住検討者に対しては、移住関連施策に田舎ツーリズム施設利用を組み込むことが効果的と考えられるため、UIターン推進課と連携し、各自治体の移住担当部署へ利活用の働きかけを行う。また、関係人口に対しては「しまっち！」プログラムと併せて田舎ツーリズム施設利用を案内する。

実践者の更なるスキルアップや、受入れ継続のモチベーションを上げることを目的に、実践者同士が互いにつながり学ぶ機会を設け、実践者同士のネットワーク化を図るとともに、新たな実践者の開拓も行う。

### 3. 社会貢献活動の促進

#### 令和7年度の状況

##### (1) 県内NPO法人数の推移 (R8.1月末現在)

(単位：法人)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
認証件数	9	8	11	11	7	5	0
解散件数	▲11	▲9	▲14	▲4	▲14	▲8	▲4
所轄庁変更	0	0	▲2	0	0	▲6	0
法人総数	287	286	281	288	281	272	268

##### (2) 取組状況

NPO法人等の自立した活動を推進するため、各種セミナーや専門相談・職員相談を展開。セミナーに関しては、事務力向上を目的とした「NPO事務局セミナー」を東部2回・西部1回開催。さらに、資金調達をテーマとした連続講座や、情報発信力強化に向けたセミナーの開催に加え、NPO同士がネットワーク化することで社会課題解決促進に寄与することを目指した「NPO交流会」を地域別・分野別に2回実施、34名の参加となった。

専門相談は29件の利用があり、4分野の中でも資金調達に関する相談が増加傾向。また、設立に関する相談がある一方で、解散に向けた相談も増えている。

休眠預金の活用については、引き続き中国5県でコンソーシアムを組み、資金分配団体として島根県内2団体への伴走支援を行った。伴走支援の場面では、社会的インパクト評価の手法を用いて事業進行の評価・助言を行った。

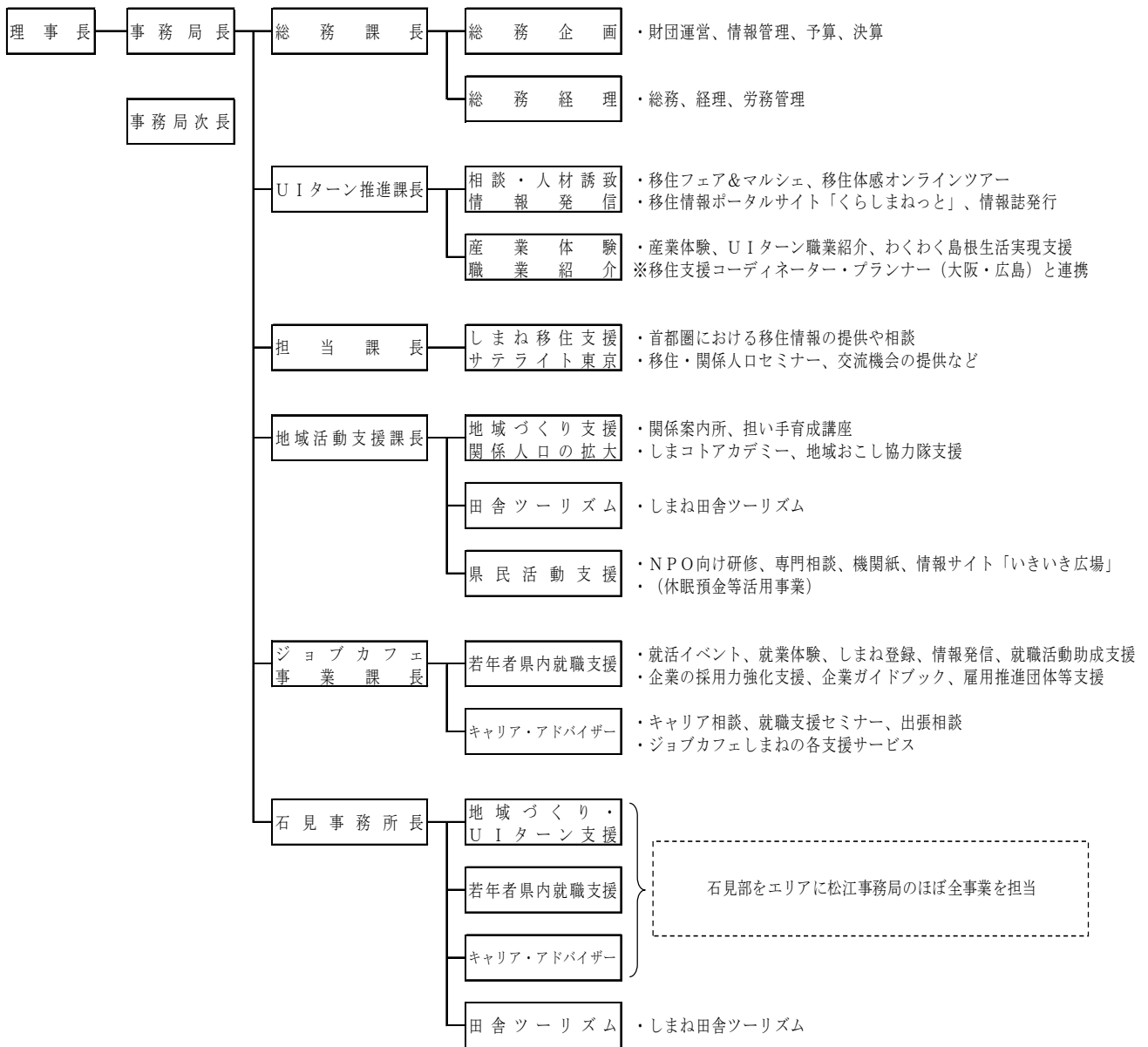
#### 令和8年度の事業展開

県内NPO法人の継続的な活動に向けては、団体の組織基盤・財政基盤強化に引き続き取り組む必要がある。組織基盤に関わるハラスメント関連の相談を受けるケースが増えているため、あらゆる機会です役員等に向けてガバナンスの重要性を伝えていく。また、NPO同士の協働を見据えたネットワーク化にも引き続き取り組む。加えて、継続的な活動に向けては人材確保・育成も必要であると考え、NPO法人に対しても関係人口の活用を提案していく。

休眠預金等活用に関しては、資金分配団体としての動きは令和7年度をもって一旦終了となるが、県内の団体が休眠預金に係る助成事業を活用できるよう、引き続き中国5県コンソーシアムに参画し、事業採択に向け連携していく。

## V. 財団の組織体制

令和8年度も、引き続き、以下のとおり令和7年度と同じ体制で業務を遂行する。



令和8年度人員体制（予定）

所属	人数(R8)	人数(R7)	増減	増減理由
松江事務局	49名	47名	2	県との交流再開、育休代替
石見事務所	12名	12名	0	
しまね移住支援サテライト東京	5名	5名	0	
計	66名	64名	2	